

# 閉会中の調査報告

産業経済常任委員会

湖南省市民産業交流促進施設、(仮称) 未来公園湖南魅力発信拠点施設について	
日時	平成 30 年 4 月 24 日 (火) 13:25~16:00
場所	湖南省役所東庁舎 4 階第 3 委員会室及び現地
出席者	菅沼利紀委員長、松井圭子副委員長、植中都委員、桑原田美知子委員、堀田繁樹委員、大島正秀委員、松原栄樹議長 議会事務局 1 名
説明者	建設経済部長、建設経済部次長、産業振興戦略局次長、 産業振興戦略局管理監、産業立地企画室長
次第	① あいさつ (菅沼委員長) ② 会議録署名委員の指名 (松井副委員長) ③ 所管事務調査について 湖南省市民交流促進施設について (現地調査) (仮称) 未来公園湖南魅力発信拠点施設について (現地調査) ④ その他 行政視察内容、候補地について ⑤ 閉会 (松井副委員長)
説明内容	■未来公園湖南構想 第一次、第二次、第三次産業の融合と推進。新たな拠点施設を整備し、国内外から観光客を呼び込み交流人口の拡大を図る。地元産物の販売強化や雇用の拡大につなげ稼ぐ力のある地方創生を推進する。 ① 市民産業交流促進施設 (平成 28 年 11 月 5 日~平成 30 年 3 月 31 日) 売上 : 223,518,409 円 / 客単価 : 1,317 円 / 客数 345,360 人 調理室、研修室稼働日数 327 日 / 稼働率 64% / 利用料金 625,000 円 ② (仮称) 魅力発信拠点施設 (レストラン、情報発信) 建築構造 : 鉄骨造平屋建て 敷地面積 : 3,928 m <sup>2</sup> / 建築面積 437.68 m <sup>2</sup> / 駐車場 1620 m <sup>2</sup> ※現在建築中、平成 30 年開設予定、道の駅の認定に向けて調整中 ③ 市民農業塾、チャレンジ農園 平成 28 年市民農業塾全 6 回 : 参加者 310 名 平成 29 年市民農業塾基礎編全 6 回 : 参加者 30 名 平成 29 年市民農業塾実践編全 7 回 : 参加者 9 名 平成 30 年市民農業塾実践編 : 20 名予定 チャレンジ農園実践事業 : 3 枠予定

<p>主な 質疑応答等</p>	<p><b>問</b>魅力発信拠点施設の駐車場について、道の駅への認定のために大型バス駐車場を増やすことで普通自動車駐車場が6台、障がい者用2台になると聞かすが、本当に対応可能だと考えているのか。また、イオンとの駐車場の交渉は。</p> <p><b>答</b>大型バスの駐車場スペースが空の場合、兼用とする対応を考えています。またイオンとの交渉はこれからで、駐車単価も未定です。</p> <p><b>問</b>工期の遅れの原因として建築確認申請が許可されなかったと聞かすが、遅れの原因と建築単価など価格高騰の可能性は無いのか。</p> <p><b>答</b>農地を宅地造成するため、当初予定では盛り土を由良谷川の浚渫土を利用するつもりであった。しかし良質土ではなく、購入に切り替えたため時間を要した。建築確認申請がおりなかったのは大きな問題ではありません。建築単価については、大きな変更はないと見込んでいる。</p> <p><b>問</b>レストランの敷地の高さは低く感じ取れるが、浸水の可能性はないのか。また、排水はどのように考えているのか。</p> <p><b>答</b>現地はハザードマップ上1m浸水のある地域ではあります。床下浸水は有りえるが、床上浸水の可能性は考えられません。また、駐車場の排水は西側に勾配し、南側の用水路へ排水するよう計画しております。</p> <p><b>問</b>近隣に大消費地がある立地ではないので、グリーンツーリズムなどの利用者数増加に向けての考えは。</p> <p><b>答</b>農業塾の活用を考えています。また産業ツーリズムとして周辺工場の見学等と合わせての検討も行います。</p> <p><b>問</b>出品者同志の出荷協議会などの設立が必要ではないか。</p> <p><b>答</b>現在、JA こうか花野果市の出荷者クラブがあります。出品者は会員となっていますのでクラブを通して情報の共有などが図れると考えております。</p> <p><b>問</b>農家レストランのオープンに向けての準備スケジュールは。</p> <p><b>答</b>施設は指定管理者制度を予定しており、6月に公募を開始し、選考委員会を経て9月議会で指定管理者を審議頂きたい。オープンは10月終わりから11月頃を予定している。収穫野菜は、こびあにA品（販売用）農家レストランにB品（加工）を活用することを考えている。</p> <p><b>問</b>農家レストランの駐車場の出入口は一か所となっている。週末を中心に出入口付近は現在でも混雑しているが、その対応は。</p> <p><b>答</b>イオン側との協議を進めています。渋滞緩和に向けて努力を重ねます。</p> <p><b>問</b>チャレンジ農園の募集状況と選定については。</p> <p><b>答</b>現在の応募は3組です。今後の農業担い手を創出することが目的ですので選定については面談を通して決定していきます。</p> <p><b>問</b>道の駅の登録に向けての課題や、集客に向けた考えは。</p> <p><b>答</b>年間2度の登録の機会が存在するが、現在は秋の登録を目標としている。</p>
---------------------	--

認定されれば、道の駅の表示看板が設置出来る。道の駅ホームページへの反映、県内の道路マップなどへの反映、カーナビゲーションへの反映などが考えられる。

**問**ここぴあのように愛称の募集については考えられているのか。そのスケジュールは。

**答**ここぴあと同様に公募を6月から開始予定。6月の市広報にて考えています。また懸賞品の準備が出来れば、懸賞ブックへの掲載も可能になり、広域からの応募も考えられます。